

# 【事業名】 服薬適正化事業

クボタ健康保険組合

委託事業者：(株)日本医薬総合研究所

## 背景

- 社会構造の変化、複雑化に伴って生活習慣病およびメンタルヘルスの罹患率が増大している。多科受診による服薬に関する問題点（重複服薬・多剤服薬・禁忌投薬）がクローズアップされる中、加入者の安全・安心を担保し服薬適正化と薬剤費の低減を図ることが必要であると考え、以下の事業を実施。

## 事業実施の目的

- 加入者の受診行動の適正化、服薬リテラシーの向上を通じて、服薬リスクの回避および医療費（薬剤費）の適正化を図ることを目的とする。
- 加入者に対して、服薬リスクの理解、お薬手帳の正しい使い方、服用薬剤の一元管理の重要性など、当事業及び健保発信ツールによる啓発活動を継続し、服薬適正化の意義を定着化させる。

## 事業内容

### ①多剤服薬通知（ポピュレーションアプローチ）の実施

- 服薬通知（次頁参照）によりかかりつけ医、かかりつけ薬剤師への相談を促し、適正服薬につなげる。

通知後1か月間コールセンター薬剤師による相談窓口を設置

【抽出条件】 ・ 同一月に複数医療機関より7剤以上の薬剤を服用している加入者

- ・ 処方日数8日以上（急性期疾患を除くため）、外用薬、頓服薬、漢方薬は含む、注射薬、生薬は除外
- ・ 透析患者、化学療法用の制吐薬、抗がん剤、麻薬（鎮痛）を使用している人は含まない

### ②重複（禁忌）服薬（ハイリスクアプローチ）通知および薬剤師による電話指導の実施

- 薬剤師コメント入り通知（次頁参照）後、薬剤師による介入指導を実施し、適正服薬につなげる。

【抽出条件】 ・ 1か月もしくは3か月連続で、同一成分もしくは同薬効成分（問題のある症例）を2施設以上の医療機関から定期的に処方されていると推測される加入者。

- ・ 処方日数8日以上（急性期疾患を除くため）、注射剤は除く、外用薬・頓服薬は含む。
- ・ 薬剤の重複をYJコード7桁とYJコード3桁より抽出した後、当該薬剤の処方日、日数、期間内に解消等を薬剤師による目検、精査の上、最終的に対象者を選定する。

# ①多剤服薬通知（ポピュレーションアプローチ）

あなたの処方されたお薬についてのお知らせ

2018年2～5月

あなたの処方されたお薬 23 種類

重複している薬剤成分 2 種類

ジェネリック医薬品へ変更した場合 最大 1435 円

このお知らせは、

- 1 処方ごとの薬剤以上の薬も服用されている可能性がある方
- 2 同じ成分もしくは同じ効果をもつお薬も重複して服用されている可能性がある方
- 3 服用しているお薬の中に、後発医薬品へ変更可能なお薬がある方

お知らせの考え方

「お知らせ」の活用

通知物の内容（中面P2-P3）

- 通知書掲載情報
  - ① 服用薬剤一覧（多剤服薬）
  - ② 重複している薬剤成分（●印）
  - ③ 後発医薬品（削減金額）

## 成果指標

### 成果指標①多剤服薬通知（ポピュレーションアプローチ）

通知前後における

A：薬剤削減金額の総和

B：薬剤数削減率

上記①②指標を合算して成果額とする。

## 事業のポイント

薬剤師の活用により、対象者の的確な抽出をはじめ、重複や多剤状態になりがちな疾病・薬効分類等にも注視して取り組むことで、従来のジェネリック差額通知より一歩踏み込んだ介入を実現する。

# ②重複（禁忌）服薬通知（ハイリスクアプローチ）

服薬情報通知

2020年12月5日

オバルモン錠5μgとリマプロストアルファデクス錠5μg「サワイ」は、名前は異なりますが、同じ成分のお薬です。服用が過量の場合、下痢や胃部不快感、肝機能異常などの副作用が出る可能性があります。

●●● お薬相談を受けることをお勧めします ●●●

■ 同一薬効・同一成分

薬名	成分名	薬剤名	医療機関名
オバルモン錠5μg	オバルモン錠5μg	オバルモン錠5μg	日大総合医療センター
リマプロストアルファデクス錠5μg	リマプロストアルファデクス錠5μg	リマプロストアルファデクス錠5μg	日大総合医療センター

■ 服用状況一覧

日	服用年月日	薬剤名	医療機関名	1日の使用量	単位	処方回数
●	2021年2月18日	オバルモン錠5μg	医療法人A診療所	3	錠	28
●	2021年2月18日	リマプロストアルファデクス錠5μg	医療法人A診療所	20	錠	1

■ 通知書掲載情報

A3、見開き2ページ、封書にて送付

- ・ 複数医療機関から処方の重複薬剤を色分けにて明示
- ・ 薬剤師コメント（重複の概要説明）おくすり相談勧奨

### 成果指標②重複（禁忌）服薬（ハイリスクアプローチ）

通知前後における

A：重複薬剤削減金額の総和

B：重複薬剤削減率